

麻疹（はしか）ワクチン接種歴の確認について

麻疹は麻疹ウイルスを原因とする感染症で、高熱や発疹が出現し、肺炎や脳炎などの合併症で死亡することもある病気です。病原体がウイルスなので罹患しても特效薬がありません。また、空気感染を主体として感染力が非常に強く、予防するためには麻疹ワクチンを2回接種しておくことや、麻疹を予防するための十分な抗体（免疫力）を持っておくことが重要となります。

大分大学ではこれまで、医療系、教育系の学生さんを中心に、麻疹ワクチンの接種歴について調査し、ワクチン接種が2回できていない人や、麻疹の抗体価が低い人には追加接種を推奨してきました。しかし、昨年、関西空港で集団発生があったように、最近、海外で感染した人を起点とした集団発生が日本の各地域においてみられ、本邦の麻疹患者数が、本年7月の時点で昨年を上回ったことが国立感染症研究所より発表されました。これは、現時点において、いつどの地域で麻疹が集団発生しても不思議ではない状況であることを意味しています。

大分大学では今後、学生さんを麻疹から守ること、また大学内での集団発生を予防するために、理工学部、経済学部の学生さんに対しても麻疹ワクチンの接種歴について調査し、2回接種できていない学生さんに対しては、麻疹ワクチンの接種を推奨するようにしました。

今回、入学時に保健管理センターに提出した健康管理カードで、麻疹ワクチンの2回接種が確認できなかった学生さんに対して、呼び出しを行っています。保健管理センターからメールが届いた学生さんは、母子手帳、あるいは母子手帳でこれまで受けた予防接種について記載された全ページの写真を、保健管理センターまで持参してください（実家の保護者の方から上記部分の写メをスマートフォンに送ってもらい、それを保健管理センターでみせていただく形でも結構です）。

麻疹ワクチンの追加接種が必要と判断された学生さんに対しては、保健管理センターから医療機関あての紹介状を作成しています。

よろしく申し上げます。